

祝日本一  
第35回JAWAアームレスリング  
選手権大会 55キロ級優勝

拳ノ川地区出身の矢野大輔さんが11月4日(土)、第35回JAWAアームレスリング選手権大会 55キロ級ライトハンドの部で優勝を果たしました。同大会には、全国から約400人の参加者が出場し競技を行いました。



矢野大輔さん

矢野さんは、友人に誘われ高知市にある道場へ見学に行ったことがきっかけでアームレスリングを始め、6年目の現在、「高知龍腕」(アームレスリング道場)の代表を務めています。

普段はニラ農家の仕事をしながらトレーニングを行い、全国のアームレスリング大会に出場しています。

矢野さんは「優勝した時、やってきて良かったと、支えてくれた家族やチームのみんなに感謝の思いで一杯になった」「アームレスリングをやってきたことで、多くの繋がりができ世界が広がった」

と振り返っていました。

矢野さんが強さを保つ為に気をつけていることは「基本に立ち返り現状に満足しないこと」と話し、「まずはアジア1位をめざし、いずれ、世界1位をめざしたい」と次なる目標をあげていました。

また、これからアームレスリングを始める人に向けて「日常の取組としてコツコツ楽しんでトレーニングしていけば伸びていく。努力は報われる。」と話していました。



優勝メダル



試合の様子

フルオン賞受賞 幡多舞人  
第16回「2017」  
DREAM夜さ来い祭り

11月4日(土)、東京都・お台場にて「第16回2017 DREAM夜さ来い祭り」が開催され、全国から70チーム約6千人が参加しました。



幡多舞人 代表 西村和子さん

高知県からは「AZUKI」「幡多舞人」「よんでん」「濱長花神楽」「四万十町よさこい踊り子隊四万夢多」の5チームが出場し、黒潮町から出場した幡多舞人が、地域を良くアピールできていたチームに贈られる「フルオン賞」を受賞しました。

幡多舞人の代表・西村和子さんは受賞について「一番嬉しい賞をいただきました。「幡多を元気に」を目標でがんばってきたので」と喜びを語りました。西村さんは町は若い人が少ないので、夢の部分育てていきたい、町にいずれ戻ってきてもらえるように幡多の仲間達と一緒に踊りたいと5年前に

よさこいを教え始め、幡多舞人を結成しました。

チームは小学校1年生から67歳までの男女約100人の踊り子で結成されていて、家族で踊ることが出来るチームです。

西村さんは「5年で基礎を作ったのでこれから。チームの目標は2020年のオリンピックによさこいで出場すること」と新たな目標を語っていました。



幡多舞人のみなさん

